

SNS悪質書き込み 県内の大学生が監視

30件、運営会社に報告

熊本県内の大学生でつくるサイバー防犯ボランティア



サイバーパトロールでX（旧ツイッター）をチェックするボランティアの大学生（手前）

27日、熊本市西区

ア「KC3」が27日、熊本市西区の崇城大でインターネット上の違法、有害な情報を探し、通報するサイバーパトロールを実施した。

KC3は2011年に熊本県警の働きかけで発足。

本年度は県立大や崇城大、東海大、熊本学園大の計33人が所属し、交流サイト（SNS）での悪質な書き込みを監視している。

この日のパトロールには4人が参加。X（旧ツイッター）で薬物売買をつかが

わせる「手押し」や、特殊詐欺の実行犯を募る「闇バイト」などのワードを検索。30件の不適切な書き込みを見つけ、運営会社に報告した。

参加した県立大4年の田島千友紀さんは「SNS上には、常に犯罪に関する多くの投稿があふれている。地道な作業だが、犯罪に巻き込まれる人が減ってほしい」と話した。

（清水咲彩）